

平成28年5月
第010号



山家神社社務所
sanadashrine.com/yamaga
〒386-2201 上田市真田町長 4473
TEL0268(72)5700

山家 慎間

山家郷塾理念

一、自然の恵みと祖先の恩とに感謝し、日々お蔭さまの心を以て郷生の道を歩むこと
一、地域の歴史・文化・伝統を学び考へ今を照らし、故郷の振興と再生を図ること
一、永遠と続く歴史の中にある今を意識し、祖先から受け継いだモノを守り伝えること

大御宝

「おおみたから」これは土地に暮らす人のこと。山家神社の大神さまに奏上する祝詞の中にある表現です。まさにこの郷に暮らす人は真田の宝であり、真田は、郷に暮らす人あつてこそその真田であります。

さて、お恥ずかしい話ではありますが、田んぼの事、畑の事、何も知らずに育ってしまいました。神社の祭典のほとんどが農事に関わることであるにもかかわらず…。諏訪大社奉職中に総代さんのお手伝いをさせていただき、私を含む若い世代の人達には必要な事であると感じています。

昨年より真田自給くらし研究会を中心に山家神社耕作奉賛会を立ち上げ、美しい土地を次世代へ伝えるため御田植祭を復活しました。
いのちのもとをつくり、水をつくり、国土と文化を守っている農業に少しでも触れる機会になれば幸いです。

五里霧中 押森 慎

真田を信お田植祭

【日時】平成二十八年五月二十九日(日)
午前十時半より

【場所】山家神社 及び 齋田

(雨天は本殿にて祭典のみ執行)

【内容】

- 御田植奉告祭
- 田舞奉奏
- 早乙女手植え
- 直会

「田植え唄及び田舞、衣装等は諏訪大社のご厚意により真田へ伝承されました。

より多くの人にお集まりいただきたくお願い申し上げます。」



「いねとは、いのちの根なり」

神川水系一帯の稲の生育と技術の伝承を祈る祭典。収穫されたお米は秋の新嘗祭(にいなめさい)において奉獻されます。

【今後の目標】

各地区で早乙女を募集し、真田地域の五穀豊穰を祈る 田植え唄の定着



祭典のご案内

真田地域の皆様には、お忙しい事とは存じますが是非ともご参列賜りたくお願い申し上げます。

長村誌には「山家神社の水田一反三畝十六坪を齋田にあて、長小学校で齋田祭(御田植祭)を行い神饌米を作ってきた」とあり、昭和二十一年農地法により途絶えたとされています。

農業を知らない世代への指導や体験を行い、農業を身近なものとして、真田家が身命を賭して守り抜いた豊かな真田の土地を一緒に守っていけるようになります。

祭典後はささやかではございますが直会がございます。昔のこと、今のこと、これからのこと、世代を越えて楽しい時を過ごしましょう。

【耕作奉賛会入会のお願い】

御田植祭参列、田植え唄の習得、農業指導、新嘗祭(収穫感謝)への参列
「右、ご協力いただける方お待ちしております」

【一粒万倍符】

御田植祭ご参列のみなさまに、



上の神符を授与します。

